

税金横領事件 解決求める署名 (11月30日現在)

2777筆が寄せられる！

11月29日 やっと告訴に告訴額たった3件・246万

町は29日、記者会見で横領事件の告訴手続きを行ったと発表。発表（議会への報告、記者への回答を含む）の概要は次の通りです。被告訴人は元町職員K（実名で発表） 業 務上横領罪容疑 27年度中の横領額3件・246万8200円（間違いのない証拠で固めら

れる被害）。内、町県民税44万1900円、他は固定資産税、軽自動車税 町としては横領総額3000万円超と判断。本人からの謝罪はない。上司の処分は、3月に処分済なので、今のところ考えていない。

「あれこれと違う。さびら署名するわ」

事件発覚から10か月、やっと刑事罰を求め、警察に訴えていないの扉が世論に押され開かれた形です。町民の多くは、「え？まだ告訴してへんくは、町長が告訴をしないことに強い不信を募らせていました。

署名運動が進む中、いろいろな声寄せられて、行政や当事者とかかわりのあるBさんは、考えた末「いろいろ親しくしてきたが、あれこれとは違う。やっぱり署名するわ」と何かを吹っ切るように応じて

Kの家族が弁済した額が3000万円、町は被害額3000万円超え

訴額は3件、246万8200円。これではとても納得できかねます。だからこそ、事件の全容・原因などの真相解明は必須課題と言えます。

寄せられた署名を力に全容解明に向けて

議員有志6人と町民有志が呼びかけた「告訴・真相解明を求める署名」は30日現在2777筆が集約されています。これは、北川町長を支持する方も、そうでない方も、「親が3000万円弁済したからと言って、税金で成り立っている町が今まで告訴しないのは、おかしい」と思っておられる表れではないでしょうか。ご協力ありがとうございました。事件の全容解明と原因・責任の所在など明らかにするたたいは今後も続きます。ご支援よろしく願います。

818件もだまされる？

横領事件に対する町の説明に疑問が深まっています。それは、職員による着服がなぜ見抜けなかったかとの議員の問いに、上田税務課長（当時）が回答した「Kが会計室へもつていくふりをして、だまされた」という説明です。K容疑者が隠し持っていた納付書の残り192戸分は818件です（8月公表）。ということは、課長（当時）の説明通りだと818回も「だまされた」ことになるのです。1戸につき平均3件としても270回もだまされたことになるのです。「だまされた」は言い訳で、「知っていた」は「との疑惑が深まります。」

お詫び、訂正

甲良民報687号リード文の一般質問議員の記事に「西川議員」が漏れていましたので、お詫びして以下のように訂正いたします。

一般質問は8人（5日・月曜＝野瀬、田中、山田充、岡田、西川の各議員の順。6日・火曜＝宮崎、山田裕康、西澤の各議員の順）

甲良民報

686号+臨時号

2016年11月30日

発行責任：日本共産党甲良町議員

連絡：甲良町在土463（西澤）

Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123 松元たけし 38 3875

日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】